

ヤングケアラーに該当すると思われる子どもについて

(1) アンケートから相談支援につながった子ども

今回の調査を通じて、子ども家庭支援センターが子どもたちから話を聞いたところ、ヤングケアラーに該当すると思われる子どもは5人いました。

そのうち2人は支援を求める記名がありましたが、3人は記名が無く、アンケート内容から子ども家庭支援センターと学校で該当者を想定し、相談支援を継続しています。

(2) 内訳

記名ありから相談支援につながった子ども(2人)・・・中学生1人、高校生1人

記名無しから相談支援につながった子ども(3人)・・・小学生1人、中学生2人

(3) まとめ

今回、支援を求める記名の無かった子どもの中から、ヤングケアラーに該当すると思われる子どもを3人把握することができました。ヤングケアラーの当事者の中には、自覚がなく徐々に困難な状況に陥ってしまうことが懸念される中で、今回の調査から3人の当事者を把握できたことは、大きな成果であると捉えています。